

D. A. F. 鳴高！ ～鳴高生のみなさんへ校長メッセージ～

鳴尾 高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

9月号

<質問コーナー>

【Q】鳴高つながる！プロジェクトって何ですか？

【A】6月にスタートした、武庫川女子大学と本校との教育活動に関する連携がその第一弾です。具体的には、武庫川女子大学の素敵な中央図書館が、鳴高生および鳴尾高校教職員であれば利用できるようになりました。実際、夏休みに活用した人も多いと聞いています。夏休みに研究の一環で武庫川女子大学の教授にインタビューした人も。2学期以降、学科や類型はもちろんですが、鳴高の特色あるカリキュラム開発や部活動等々で武庫川女子大学とのコラボを検討していきます。

部活動を例にシミュレーションしてみると

- ①近畿大会、なんなら全国大会にも出場したい。
- ②なのに、県大会で敗退してしまう。
- ③その原因は指導者なのか？ トレーニング方法なのか？ メンタルなのか？ 食事なのか？ etc.
- ④近畿大会や全国大会に出場できる部活動になるために、解消すべき「課題」を具体的に、打ち手を考え、実行する。

※③④のところで、7月号で紹介した、『アントレプレナーシップ』に含まれる3つの要素を思い出して♪

↓
ゴール：近畿大会、全国大会出場

「鳴尾力」は『探究』的な学びで育つんです！

【鳴高トピックス】 ※詳しくはHPで♪
back number

☑鳴高ナビたんキャンプで2年生サポートリーダーが大活躍！

(R6.7.23 火～25 木 / 2泊3日)

事前研修を積み、「学べよ！楽しめよ！気づけよ！さあ、やろうぜ！」のテーマのもと、チームSL36！としてしっかりサポートしてくれました。思っていたようにはいかないこともあったでしょう。その度に自分の頭で考え行動している姿は1年生の指針となりました。その全てがSLの学びです。

☑鳴尾高校の代表として21名がオーストラリア海外研修へ

(R6.8.3 土～12月 / 10日間)

オーストラリアでの様子が手に取るようにブログで紹介されていました。8回の事前研修を積み挑んだ海外研修。日に日に成長していく21名。報告会をお楽しみに♪

☑オックスブリッジ英語サマーキャンプに1～3年生希望者27名参加

(R6.8.5 月～9 金 / 5日間)

future

☑ビブリオバトル

(R6.9.12 木、13 金)

あなたは、『探究』と聞いて、何を思い浮かべますか？
1～3年生で学んでいる「総合的な探究の時間（以下総探）」でしょうか？『探究』は R4 年度から実施している学習指導要領のキーワードでもあり、各教科でも『探究』が入った科目ができました。まず、『総探』と他教科における『探究』の違いについて考えてみましょう。
<他教科の『探究』と『総探』の違い>

- ①「総探」の学習の対象や領域は、特定の教科・科目等にとどまらず、教科横断的・総合的な点であり、実社会や実生活における複雑な文脈の中に存在する事象を対象としている点
- ②他教科の『探究』が、その教科における理解をより深めることを目的に行われていることに対し、「総探」では実社会や実生活における複雑な文脈の中に存在する問題を様々な角度から俯瞰して捉え、考えていく点
- ③解決の道筋がすぐに明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題に対して、最適解や納得解を見いだすことを重視しているという点

あなたが学んでいる（新）学習指導要領（R4 年度から実施）では生徒観・学力観が変わっています。

例えば、

（旧）生徒は教育の対象＝サービスを受ける「お客様」

（新）生徒は学びの主体＝自ら価値を生み出す「生産者」

あなたは、毎日の授業だけでなく、行事等、学校の教育活動全てにおいて、「お客様」になってやしませんか？

『探究』のキーワードは「在りたい姿」 設定すべき課題は「在りたい姿」と現実のギャップの中に潜んでいます！
つまり、①「目的」に照らして「在りたい姿」を考え、→②それと現実のギャップを現象としての「問題」と捉え、→③そしてその「原因」を掘り下げることで解消すべき「課題」を明らかにし、→④具体的な打ち手を実行する。